

令和3年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	国語表現	単位数	2	対象学年・組	3年X・Y選択
教科書 使用教材	「国語表現」教育出版	教科担任		笠原紀一 進藤雅枝	

1. 目標

1. 自己を見つめ、正しい言葉で適切に表現する力を養う。
2. 読み手・聞き手に対し、自己の考えを伝達できる力を養う。
3. 国語的常識を身に付け、語彙力や漢字力を豊富にする。

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	国語表現への導入 メモの取り方 スピーチの方法 ことばについて学ぶ 自己紹介をする	・目的と種類に応じてメモを取り、ポイントを理解することができる。 ・声の出し方・スピーチの方法について知り、自分の意見を発表することができる。 ・言葉についての様々な表現方法について学び、豊かな表現をすることができる。	正確に書き写したり簡潔に記す練習を通して、わかりやすく伝える方法が身に付くよう指導する。また、声の出し方や話し方などに注意し、わかりやすいスピーチができるよう	トータルで 単位数 X18 Y16
2 学期	小論文を書く プレゼンテーションの方法 話し合いの方法 メディアリテラシーを学ぶ 社会に働きかける表現	・小論文の構成を理解し、根拠を持って自分の主張を文章にすることができる。 ・発表の技法を学ぶことで、目的に応じた表現ができる。 ・パワーポイントを使用しての発表に慣れる。 ・メディアの特性を知り、発信者の立場を読み取ることができる。	小論文を書かせることで、自分の意見を論理的に述べるための指導する。また、メディアの比較等の活動を通して、発信者の立場を読み取り、批判的に捉える姿勢を養う。	トータルで 単位数 X26 Y26
3 学期	国語表現のまとめ ポップをつくる	・創意工夫を生かしてテーマから物語を紡ぎだすことができる。 ・原稿用紙や画用紙おの使い方に留意し適切に文章や宣伝文句などを書くことができる。	原稿用紙の使い方・文章の書き方等に留意し、適切に文章を書くことができるように指導する。	トータルで 単位数 X8 Y8

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

※生徒が学習する上での学習方法について、具体的に箇条書きで記述する。

1. 自己や社会について深く考え、積極的に発言する。
2. 論理的な思考と適切な文章を心掛ける。
3. 読み手や聞き手の立場に立って考え、的確な表現を目指す。
4. 語彙や漢字などの国語常識は、繰り返し学ぶことにより身につける。

4. 評価の観点・方法

※評価の観点と方法についてわかりやすく具体的に記述する。

1. 授業に取り組む姿勢ができていないか。(授業態度、学習意欲、出席状況による評価)